

第19回関東教育オーディオロジー夏期講習会 講座概要

講座名	講師	講座概要
1 乳幼児聴力測定の実際	間根山	聴力検査の結果は補聴器の選定や調整をしていく上で、大変重要な情報となります。ただ、乳幼児にあっては未発達な面もありその正確な把握が難しいと言えます。今回は乳幼児の聴力検査について実際の機器の操作を含め、反応の引き出し方、反応の捉え方、検査時の配慮や注意事項等について学びます。
2 標準聴力測定(初めての純音聴力測定)	伊藤・飯塚	なぜ聾学校で聴力測定をするのでしょうか？児童生徒さんのパフォーマンスを引き出すための準備、標準的な測定手順、オーディオグラムからなにを読み取り、どう活かすかについてわかりやすく解説します。実際の機器を使って学びましょう。
3 授業に生かすオーディオロジー(幼・小)基礎の基礎から、はじめの一歩	手塚	聾学校で初めてお仕事をされる先生方を対象に、授業中に意識してほしいことや幼児児童とコミュニケーションを取る際に配慮することを話題する講座です。夏休みに入って一息ついた時期に、みんなて悩みを共有して一緒に学びませんか？
4 自立活動の学習	高原・大井・山村	「自立活動って何?」「何をすればいいの?」今さら聞けない自立活動についての悩みや相談をみんなで話し合う講座です。実際にろう学校で行われている自立活動の映像を見たり、明日から使える教材を紹介したりもします。気軽に楽しく情報交換しましょう。
5 手話とオーディオロジー	石川	「手話や指文字に引っ張られない音声」「音声で失われない手話」これらを意識して子どもに向き合っていますか?声も手話もどちらも必要にしている子どもたちがいます。その子たちにアプローチする時にどんなことを意識すればいいのか、一緒に考えてみませんか?
6 語音聴力測定の実際	伊藤・飯塚	聾学校で取り組む語音聴力測定は、語音明瞭度を出すことだけが目的ではありません。測定結果の評価ポイント、補聴効果の考え方、発音評価との関係について、わかりやすく解説します。実際の機器を使って学びましょう。
7 授業に生かすオーディオロジー(難聴学級)	田原・寶田	通常学級に在籍し、難聴学級で出会う子供たちとの学びや関りについて、大学の研究者とろう学校&難聴学級経験の教員コンビと一緒に、考えていきましょう。次の日に生かせる学びが見つかるはず。
8 当事者(人工内耳装用者)	楡井・間根山	人工内耳を装用する子どもたちが増えてきている中、人工内耳のハード面だけでなく、実際に装用している本人の体験談を聞きながら、当事者の心理や聞こえの実際、日常生活での活用の様子などについて、質疑を含めながら学びます。
9 補聴器のフィッティング(基礎・事例)	三浦	実際に機器を使いながら、補聴器調整の手順や方法について学びます。オーディオグラムのデータからどのように補聴器を調整するのか、補聴器フィッティングのポイントについて、学習します。また相談したい事例がある方はお持ちください。参加される先生方と一緒に考えてみたいと思います
10 発音指導の理論と実際	松田	①発音指導は「発息・発声・発音(狭義)・発語・発話・発展」。「発」は意識。 ②発音学習の基本は明るく楽しく元気よく。子ども大好き、息遊び・声遊び・言葉遊び。 ③ローマ字が子音の構造と発音の方法を教えてくれる。→三色テープ式熟音誘導法で皆OK。 ④各音の発音誘導はまず、ワンポイントでおさえよう。 ⑤発音指導は教材が命。定番、自作、転用。一人ひとりの子どもに合わせて改善・開発。 ⑥発音誘導の大切な合い言葉は「いき・こえ・きこえ」